

令和4年1月 名古屋港審議会会議録

- 1 開催日時 令和4年1月21日から2月21日
- 2 開催場所 書面会議による
- 3 出席者氏名 (50音順、敬称略 表決書の提出をもって出席とする)
 - 会長 大村 秀章 (愛知県知事)
 - 委員 安藤 正明 (弥富市長)
 - 岩切 康秀 (東海地区港湾労働組合連絡協議会事務局長)
 - 岡田 守人 (愛知県環境局長)
 - 小鹿 邦博 (伊勢三河湾水先区水先人会会長)
 - 小和田 亮 (海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所顧問)
 - 加藤 一登 (名古屋港管理組合議会議長)
 - 加藤 光彦 (飛島村長)
 - 黒田 達朗 (椋山女学園大学現代マネジメント学部教授)
 - 源新 英明 (名古屋税関長)
 - 小林 勝次 (名古屋海運協会会長)
 - 須網 正人 (名古屋市環境局環境都市推進監)
 - 随念 学 (名古屋南部臨海企業連絡協議会会長)
 - 杉本 恒 (全日本港湾労働組合東海地方名古屋支部執行委員長)
 - 相馬 淳 (名古屋港長)
 - 高木 ひろし (名古屋港管理組合議会議長)
 - 高橋 治朗 (名古屋港利用促進協議会会長)
 - 鶴田 利恵 (四日市大学総合政策学部教授)
 - 藤條 聡 (名古屋市住宅都市局長)
 - 長谷川 桂子 (弁護士)
 - 服部 伸一 (名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会会長)
 - 花田 勝重 (東海市長)
 - 藤森 利雄 (名古屋港運協会会長)
 - 宮島 壽男 (知多市長)
 - 武藤 正春 (東海倉庫協会副会長)

	森	哲也	(愛知県都市・交通局長)
	山	原始	(全日本海員組合名古屋支部長)
	山	本 亜 土	(名古屋商工会議所会頭)
	吉	川 廣 一	(伊勢湾海難防止協会会長)
臨時委員	後	藤 英 丸	(中部運輸局交通政策部計画調整官)
	藤	田 亨	(中部地方整備局名古屋港湾事務所長)

会 議

〔 審 議 〕

令和4年1月21日に開催案内及び審議資料を各委員に送付し、表決書を取りまとめた結果は下記のとおりである。

委員33名中31名の出席により、委員及び臨時委員の総数の過半数を満たしているため
会議成立

審議事項①

名古屋港臨港地区及び分区の変更について

賛成 29票 反対 1票

審議事項に対する意見

- ・新宝ふ頭は、労働者の憩いの場として必要である。代替地がない以上、反対である。

杉本委員（全日本港湾労働組合東海地方名古屋支部執行委員長）

審議事項②

名古屋港審議会運営規程の一部改正について

賛成 30票 反対 0票

審議事項に対する意見 なし

上記審議事項については、表決委員の過半数の賛成をもって、原案を適当と認め、審議事項①については名古屋港管理組合管理者に対しその旨答申する。

〔 専門部会の議決内容報告 〕

専門部会部会長黒田達朗委員から、名古屋港審議会運営規程第7条第4項の規定により、さきの審議会以降これまで開催された専門部会において、下記審議事項について原案を適当と認める議決をした旨報告された。

日 時	開 催 場 所	審 議 事 項
令和3年1月18日 ～2月2日	書面会議	名古屋港港湾計画の軽易な変更について 港湾環境整備負担金対象工事の指定について
令和3年3月24日	名古屋港湾会館	名古屋港港湾計画の軽易な変更について

会議録署名者	会	長	大	村	秀	章
	委	員	藤	條	聡	
	委	員	武	藤	正	春